

# 210 熱帯泥炭地に展開されたサゴヤシ圃場の 多年生植物について

生物生態制御学講座 栽培土壌学分野 入江 修平



はじめに

サゴヤシ圃場では除草管理が不十分

サゴヤシは3つの生育ステージ  
幹立ち期以降は樹冠形成

雑草の生育環境の変化

雑草の種類・バイオマス量に影響??



目的 サゴヤシ移植直後と幹立ち期の雑草の種類・バイオマス量を明らかにする

調査方法

区: 移植1年目、移植10年目(幹立ち期)

方法: 草本種 縦2m×横2m

木本種 縦250m×5m 12.5a

項目: 草本種 種類、バイオマス量

木本種 種類、個体数

(移植1年目)

結果

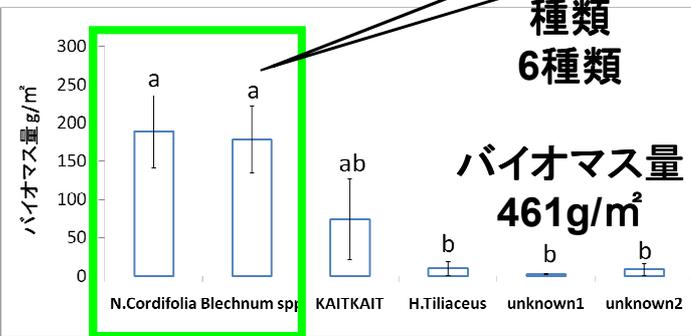
(移植10年目)



移植1年目  
(シダ植物繁茂  
木本種なし)

草本種

シダ植物



種類  
6種類

バイオマス量  
461g/m<sup>2</sup>

草本種  
種類  
1種類(シダ植物)

バイオマス量  
237g/m<sup>2</sup>

木本種

木本種  
が多い



種類  
本数  
樹高

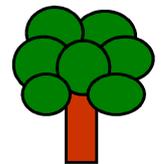
—  
100本/ha  
6~8m

木本種



サゴヤシ

シダ植物



13種類  
124本/ha  
2.7~5.5m

結論

サゴヤシの生育ステージによって雑草の種類・バイオマス量が異なる